

平成 29 年 9 月 19 日
「最上・月山地域の砂防と活力ある未来を
考える会」記念事業実行委員会 事務局

「最上・月山地域の砂防と活力ある未来を考える会」記念事業を開催
～11 市町村長と共に活力ある未来を考えます～

最上・月山地域の土砂災害に備えた安全な暮らしの創造と、人と自然が豊かに共生する活力ある未来を考えるため、11月5日（日）に庄内町立立川小学校体育館において記念事業を開催します。

立谷沢川はかつて大雨が降るたびに洪水氾濫を繰り返し、人命や田畑に被害を与える暴れ川でした。昭和 12 年から始まった砂防堰堤や流路工の整備により、流域の暮らしは守られるようになったのです。しかし、砂防施設が果たす大きな役割は時間の経過とともに人々の中で次第に薄れてゆきます。他方、近年、豪雨等に伴う土砂災害が全国で多発しています。改めて砂防の役割を考えると共に、最上・月山地域の土砂災害に備えた安全な暮らしの創造と、人と自然が豊かに共生する活力ある未来を考えるために、以下のとおり記念事業を開催します。

記

1. 開催日時 平成 29 年 11 月 5 日（日） 13:00～16:00
2. 開催場所 庄内町立 立川小学校 体育館
3. 主 催

「最上・月山地域^{※1}の砂防と活力ある未来を考える会」記念事業実行委員会
[プログラム]については、別紙 1 を参照して下さい。

※1：最上・月山地域とは、月山周辺の市町村及び最上郡の市町村。

（鶴岡市、新庄市、西川町、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村、庄内町）

（総務省全国地方公共団体コード順）

※詳しくは国土交通省新庄河川事務所のウェブサイト又はこちらからご覧ください。↓



※今後、記者用の説明会を開催しますので、日程等は別途お知らせします。

（発表記者先）

山形県政記者クラブ、酒田記者クラブ、鶴岡記者会、新庄新聞放送記者会

問い合わせ先

「最上・月山地域の砂防と活力ある未来を考える会」記念事業実行委員会 事務局
〒996-0071 新庄市小田島町 5-55 TEL 0233 (22) 0262 (調査課直通)

副所長（砂防） しぎはら よしとか 鳴原 吉隆（内線 205）

調査課長 くぼた としかず 窪田 敏一（内線 351）

MOGAMI-GASSAN



最上・月山地域の砂防と 活力ある未来を考える

～先人の努力と情熱を引き継いで～

開催日時

平成29年

11月5日

(13:00～16:00)

聴講無料!!

80年
にあたる
土砂との闘いの歴史



—記念講演—

地域の資源を生かした 活力ある未来に向けて

～防災と集客、歴史的砂防施設の観光資源への転換の可能性～

【講演者】

小野田 金司 (神戸山手大学副学長・教授)

地域が誇る先人の想いと施設を観光資源に転換して、地域のストーリーを発信、来訪者と地域住民が、共有して新しい未来の魅力に進化させていくことが、地域活性化に繋がることを、神戸の震災イベントなどを事例で紹介。

開催場所 庄内町立立川小学校体育館

昭和13年(立谷沢川支流濁沢)

主催:「最上・月山地域の砂防と活力ある未来を考える会」記念事業 実行委員会

(構成:山形県、鶴岡市、新庄市、西川町、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村、庄内町(総務省全国地方公共団体コード順))

山形大学、(一社)東北地域づくり協会、最上川・赤川水系砂防ボランティア協会、月山ジオパーク推進協議会、国土交通省 新庄河川事務所)

後援:岩手大学、東北芸術工科大学、気象庁 山形地方気象台、山形県砂防協会、朝日新聞山形総局、毎日新聞山形支局、読売新聞山形支局、河北新報社、山形新聞・山形放送、庄内日報、NHK 山形放送局、山形テレビ、建設新報社、東北建設工業新聞社、建設新聞社、日刊建設工業新聞社東北支社、日刊建設産業新聞社東北支社、(公社)砂防学会東北支部、(一社)山形県建設業協会、(一社)建設コンサルタンツ協会東北支部、(一社)東北測量設計協会、(一社)東北地質調査業協会、庄内町立立谷沢地区振興会

【順不同】

問い合わせ 「最上・月山地域の砂防と活力ある未来を考える会」記念事業実行委員会 事務局 国土交通省 新庄河川事務所 調査課
〒996-0071 山形県新庄市小田島町5-55 電話: 0233-22-0262

開催主旨

立谷沢川はかつて大雨が降るたびに洪水氾濫を繰り返し、人命や田畑に被害を与える暴れ川でした。昭和12年から始まった砂防堰堤や流路工の整備により、流域の暮らしは守られるようになったのです。しかし、砂防施設が果たす大きな役割は時間の経過とともに人々の中で次第に薄れてゆきます。

他方、近年、豪雨等に伴う土砂災害が全国で多発しています。改めて砂防の役割を考えると共に、最上・月山地域^{※1}の土砂災害に備えた安全な暮らしの創造と、人と自然が豊かに共生する活力ある未来を築くために、記念事業を開催します。

※1 最上・月山地域とは、月山周辺の市町村及び最上郡の市町村

開催テーマ

最上・月山地域の砂防と活力ある未来を考える～先人の努力と情熱を引き継いで～

プログラム

12:15～ 開 場
I部 記念式典 13:00～14:40

13:00～13:20 開会挨拶

13:20～13:30 祝 辞

13:30～13:40 来賓紹介

13:40～13:55 事業報告 【報告】新庄河川事務所長

直轄砂防80年の歩み

13:55～14:40 記念講演 【講演者】小野田 金司氏(神戸山手大学副学長・教授)

地域の資源を生かした活力ある未来に向けて

～防災と集客、歴史的砂防施設の観光資源への転換の可能性～

休 憩 14:40～14:50

II部 最上・月山地域の活力ある未来を語るフォーラム 14:50～16:00

14:50～15:00 発表—1 「まるごと里ごとハザードマップの作成」の取組

15:00～15:10 発表—2 「防災学習教室」の取組

《地域懇談会》最上・月山地域の砂防と活力ある未来を考える

【コーディネーター】

八木 浩司氏(山形大学教授)

【コメンテーター及びアドバイザー】

小野田 金司氏・新庄河川事務所長

【パネリスト】

主催11市町村長

15:10～15:25 テーマ1/「防災」

15:25～15:40 テーマ2/「地域活性化」

15:40～16:00 テーマ3/「未来に向けて」

16:00 閉会挨拶



《総合司会》

松浦 彩
(フリーアナウンサー)

山形、仙台を中心にラジオDJやイベント司会、CMナレーションなど多方面で活躍中。山形県鶴岡市出身



ハザードマップ作成の様子



防災学習教室の様子

●会場交通アクセスマップ



《電車利用の方》

□JR新庄駅/余目駅からJR陸羽西線で「狩川駅」下車
(会場までシャトルバスを運行します)

《自動車利用の方》 ※駐車場あります

□山形自動車道 鶴岡ICより国道345号で約19km
□東北中央自動車道 新庄ICより国道47号で約35km



●会場周辺図



お問い合わせ先 ※詳しくは国土交通省新庄河川事務所のウェブサイトをご覧ください。

「最上・月山地域の砂防と活力ある未来を考える会」記念事業実行委員会 事務局

国土交通省 新庄河川事務所 調査課 〒996-0071 山形県新庄市小田島町5-55 電話：0233-22-0262